

3 リーディング・プロジェクト

計画の推進に当たっては、さいたま市の緑の緊急的な課題や特徴などを踏まえ、4つの基本方針と関連させながら、先導的・重点的に推進すべき5つのリーディング・プロジェクトを位置づけます。

リーディング・プロジェクト	方 針
基本方針1・4に関連したリーディング・プロジェクト	
見沼田圃シンボル軸づくり	本市最大の緑資源である見沼田圃と斜面林は、都市と田圃の共生のシンボル、独自の自然と歴史のシンボルとして、市民・団体・事業者・行政が一体となって保全・活用・創造し、世界に誇る「見沼の緑」をつくります。 (参照:P60 など)
荒川シンボル軸づくり	首都圏有数の緑資源である荒川の河川空間は、国・県・近隣市との連携により、優れた自然環境のシンボルとして、エコロジカル・ネットワークの拠点をつくり、首都圏の環境を支える緑と水の空間とします。 (参照:P64 など)
元荒川シンボル軸づくり	豊かな水と緑をたたえた元荒川の河川空間は、優れた自然環境のシンボルとして、河畔林や周辺の樹林地などの保全・活用に努めるとともに、市民が水辺に親しめる空間とします。 (参照:P66 など)
緑のシンボル核づくり	盆栽村・氷川神社周辺地域は、緑豊かで風格を感じさせるまちなみです。それに続く氷川参道のケヤキ並木は良好な景観を醸し出し、さいたま新都心までの緑のネットワークを形成しています。見沼田圃では、市民のオアシスとなるセントラルパーク構想が広がります。これらの歴史・文化資源と新しい都市空間のさまざまな緑が融合する緑のシンボル核をつくります。 (参照:P68 など)
基本方針2・3・4に関連したリーディング・プロジェクト	
市街地の市民の庭園づくり	市の南北に広がる市街地を中心として、緑が少ない市街地では、ヒートアイランド現象を緩和し、市民が安全で健康的な生活が送れるように、さまざまな手法を活用して残り少ない樹林地や農地の保全とともに、新たな緑の創出を推進します。それらの緑は、「市街地の市民の庭」となり、人と人との心を結び、人と自然のふれあいの場として育みます。 主なプロジェクト 樹木・樹林地の保全・活用・再生(参照:P77 など) 市街地の農地の保全(参照:P79 など) 住区基幹公園などの整備(参照:P82 など) 都心部を中心とした緑の創出(参照:P86 など) 花と緑の駅づくり(参照:P89 など) 公共公益施設の緑化推進(参照:P90 など) 住宅地の緑化推進(参照:P94 など) 屋上緑化・壁面緑化の推進(参照:P97 など) 都市計画道路の緑化推進(参照:P100 など) コミュニティガーデンづくりの推進(参照:P109 など)

用語解説

エコロジカル・ネットワーク
(P172)

セントラルパーク構
想
(P174)

コミュニティガーデン
(P173)

リーディング・プロジェクト



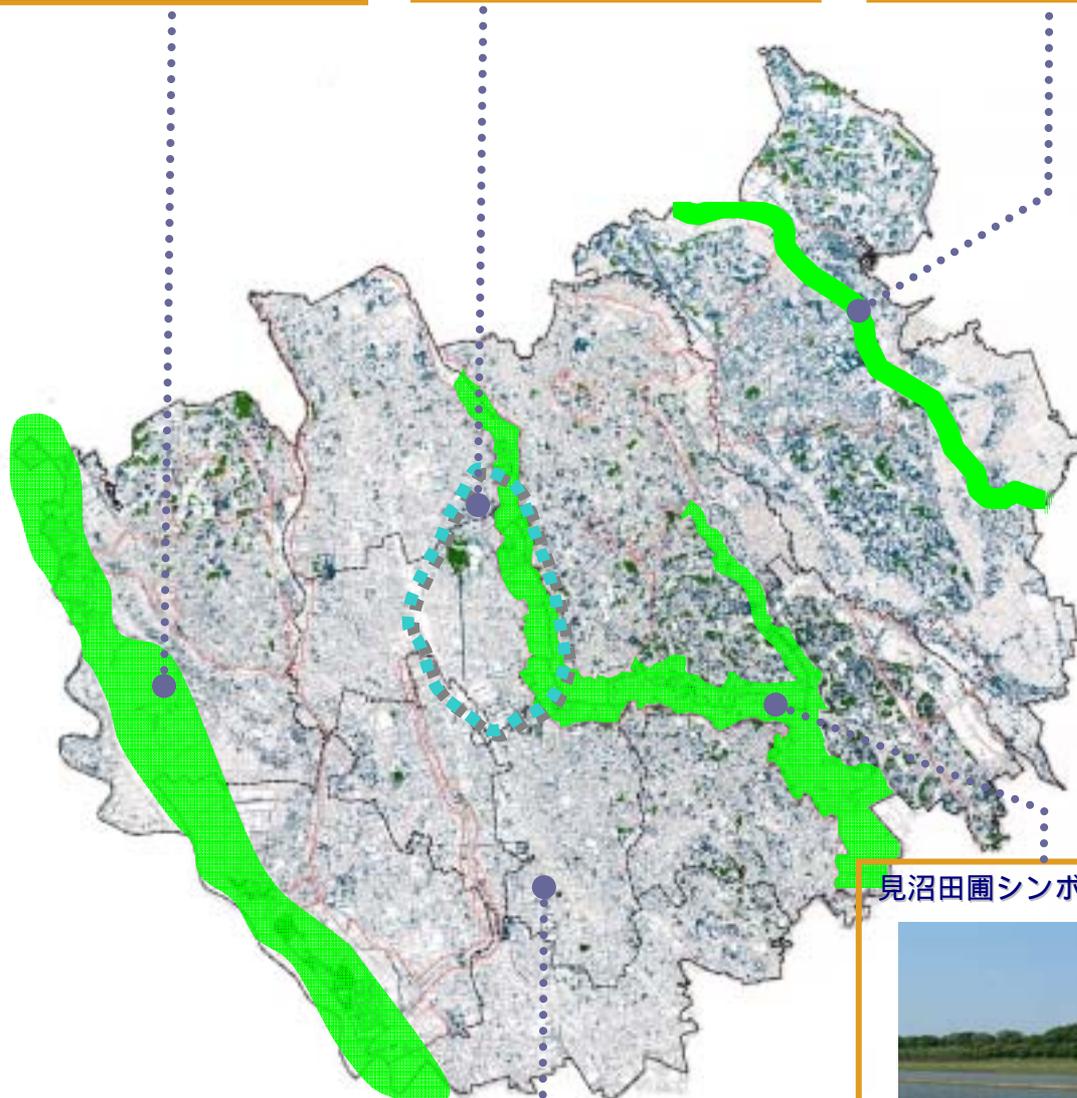
荒川シンボル軸づくり



緑のシンボル核づくり



元荒川シンボル軸づくり



見沼田圃シンボル軸づくり

市街地の市民の庭園づくり

